

# 「化学物質の危険の見える化」実習による事故への対策と対応の重要性の認識

「環境安全衛生マイスター養成講座」を今年から新規開講して、安全文化を高揚する指導者の育成の取組を始めました。安全管理教育部分では、安全衝立の製作、危険体感実習、消火訓練を実施しました。

危険を「見える化」することで、安全対策の必要性や緊急時の対応の重要性を認識してもらいました。実習終了後に早速自分の持ち場で活動を開始してくれる人が何人も現れました。

実習風景ビデオ(58秒)  
クリックすると再生します



## 参加者の感想

- 通常では体験できないようなことを実際に体験することができ、こんなことを何も気を付けること(安全衝立やドラフト等)なく行うのは非常に危険であると認識できました。
- 自分が普段行っている実験にどれだけ危険が潜んでいるかを知ることができました。
- 安全を積極的に作り出していくことを学びました。実践的な内容を通して、安全が得られるためにはどうすればよいか考え自ら行動する姿勢を学ぶことができました。
- 自分から行動していかないといけないなという責任を感じました。
- 授業を受けて、研究室でドラフトの作業環境を改善したり、使い終わって放置されているブチルリチウムをクエンチして捨てたりして、研究室の環境が良くなりました。